事例No.	2631
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	内山　裕紀子

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

内山　裕紀子

出典

平成28年度ふるさとづくり大賞事例集

内山　裕紀子　三重県尾鷲市

概　　要

熊野古道は広域であることから、関連する事業や観光PRは行政単位に区分され、滞在時間が短い旅行者が多いこと、また、過疎高齢化に伴い保全関係者が減少するといった地域課題の解決のため、民間からエコツーリズムに取り組み、行政区域を越えた個人客向け着地型エコツアー24種類、宿泊施設や地域団体と連携した着地型エコツアー、地域資源の発掘保全を目的とするウォークイベント、視察研修やメディアなどの対応、旅行会社の企画協力やガイド派遣などのコミュニティ・ビジネスを行っている。



評価された点

・熊野古道を単なる観光地としてではなく、地域の風土、歴史、文化、人々の暮らしを伝える活動の牽引者。補助金などに頼らない自主運営で平成20年から継続している。
・長年の取り組みと多い事業組成と集客、地域経済の活性化に大きく貢献してきた。
・熊野古道はリピーターづくりが巧みであることが既に評判となっており、他地域の参考例としても評判が高い。その鍵こそが人による細やかで多様なもてなし手法である。ガイドによると「心を充たす」資源として評価の高い活動である。



西辻　一真　京都府京都市

概　　要

自産自消のある社会を創るため、耕作放棄地の解消と新規就農者及び指導員の育成・支援を目的とする事業を展開。京都府内において、耕作放棄地を農地として再生し、体験農園やアグリイノベーション大学校の実習農場として活用するなど、積極的に事業を実施。また、都市農村交流を推進するために運営している「瑞穂マスターズ農園」の利用者促進のため、受け入れに結びつく効果の高いホームページやチラシの作成、指導員の育成を行った。



評価された点

・農業問題を解決するモデルケース。ＩＴを駆使した多角的なマネージメントは、若者を惹き付ける。
・農業に関心を持つ社会人が自由に農業を学べる場は大変貴重。耕作放棄地をうまく活用して作り出し、就農、起業につなげており、称賛に値する。
・アグリにはイノベーションが必要。まだ若く、これからも更に頑張れる。その励みにもなってほしい。
・“一筋の光”を見出す若い世代の取り組み。素直な言葉・心からの強い願いを込めた呼びかけに賛同する若者達のネットワークが国内外へと形成されつつある点と発信力を評価。
・耕作放棄地活用のパイオニアとして既に有名だが、アグリイノベーション大学校等の取り組みに見られるように活動も進化しており、これからの新企画も楽しみな存在。

